

## JAほこた苺部会研究部意見交換会を開催しました

令和7年1月27日（月）、銚田市内の生産者ほ場において、JAほこた苺部会研究部を対象とした現地巡回を開催し、生産者9名が出席しました。

育苗および定植時期が記録的な高温となったことから、定植前後の管理が非常に難しい年となりましたが、JAほこた苺部会では令和6年は10月末からイチゴの出荷を開始し、品質の高いイチゴの出荷を続けています。

今回、研究部では部員同士でほ場を訪問しあう現地巡回を開催し、ほ場2カ所の様子を見ながら、生育状況や課題とその対策について情報交換を行いました。

資材メーカーより今後の管理のポイントについて説明したのち、普及センターから本年度研究部で実施しているアザミウマ類の総合的な防除対策試験の状況について情報提供するとともに、病害虫の発生状況や効果的な防除方法について助言を行いました。

当日は参加者間で活発に意見交換が行われ、より良いイチゴづくりに対する意欲の高さが伺われました。

普及センターでは今後もイチゴの安定生産と経営体の経営発展に向けて支援していきます。

銚田地域農業改良普及センター（成長産業）



（写真）現地巡回の様子